

営農情報



7月に入り、水稻栽培はいよいよ後半に入ります。
 これからの管理がコメの収量・品質に大きく影響を与えることになりますので、
 ポイントとなる作業をしっかり押さえ、引き続き安全・安心な良食味の米づくりをすすめましょう。

● 水稻の穂肥施用

穂肥は適期施用が重要であり、ほ場ごとに必ず幼穂長と生育（草丈・葉色・茎数）を確認してから施用するようにします。施用時期が早くと茎や止葉が伸びやすくなり、倒伏し易くなります。逆に遅れると、もみ数の不足や未熟粒の増加、食味の低下につながります。

穂肥の施用例

品 種	化成肥料201 穂肥(10aあたり)	
	コシヒカリ	出穂18日前 10kg
キヌヒカリ	出穂25日前 15kg	出穂18日前 10kg
秋の詩	出穂20日前 10kg	出穂4日前 10kg
日本晴	出穂25日前 10kg	出穂10日前 10kg

● カメムシ対策

ほ場に侵入する前に畦畔雑草の中に生息し増殖します。耕種防除には、出穂期（稲穂の約4割が確認できた時期）の3週間前と出穂期の2回の畦畔除草が有効です。

稲に加害するカメムシ(主要3種)



ホシハリカメムシ



クモヘリカメムシ



トゲシラホシカメムシ



《地域のみなさまへ》
 あなたも、「農業でアルバイト」をしてみませんか。
 アプリを、ダウンロードし、「1日農業バイト【デイワーク】」の募集情報をご確認ください。

daywork 検索



農業でアルバイトをしてみませんか。

「1日農業バイト」 daywork がスタート



《当JA管内の農業者のみなさまへ》

滋賀県内農業者の「農業労働力支援対策」として、「1日農業バイトアプリ【デイワーク】」が当JA管内でスタートします。(無料です)

アルバイト等の募集をお考えの当JA管内の農業者の方は、最寄りの営農経済センターにご相談ください。

お問い合わせ先→

